

隠れた病因を見逃さないためにも 山口病院との病診連携がかかせません。

—山口病院との連携はいつ頃からですか？

私は以前、山口病院で常勤医師としてお世話になっていましたので、開院当初からお付き合いさせていただいています。当院は幅広い症状の患者さまを診察するため、レントゲンで気になる点があるなど、精密検査が必要だと感じた患者さまには、山口病院でMRIやCT検査を受けていただきます。

—山口病院と他院の違いがあれば教えてください。

山口病院の理事長、院長をはじめとしたスタッフの医療に対する熱心さはよく存じています。いつも電話で検査の予約をしていますが、対応が早く、こちらからの細かな要望を聞き入れてくれるのは山口病院ならではの、意思の疎通がとれていると感じ、安心して患者さまを紹介できます。

—地域の皆さまにメッセージをお願いします。

診療では総合的な視点から患者さまの病因を見落さないよう心がけています。会話の中から原因が見つかることもあるので、気になることはなんでもお気軽にご相談ください。
(院長 二之湯 勝啓 先生)



名古屋市立大学卒。トヨタ記念病院を経て名古屋市立大学にて医学博士を取得後、山口病院にて常勤医師として働く。その後、平成9年に「二之湯医院」を開院。



二之湯医院
名古屋市南区赤坪町242番地
TEL.052-819-1200
診療科目：胃腸科、外科、整形外科、肛門科、
内科、リハビリテーション科、
皮膚泌尿器科、形成外科

今号の表紙

場所：名城公園／愛知県名古屋市

名城公園の北園にある芝生広場にオランダ風車があります。そばには四季折々の花が咲く「花の山」が広がり、春に咲くチューリップと風車の競演は異国の名画のように美しい風景です。



理念 家族を想う気持ちを大切にしたい

基本方針

1. 患者さま本位の医療

…患者さまに対して家族や大切な人を想う気持ちを持って接するよう心がけます。

2. 地域への貢献

…24時間体制で地域住民に対して安心できる医療を提供できるよう努力します。

3. 向上心と信頼関係

…私たち職員は、常に向上心を持ち、お互いに尊敬し、信頼できる関係でありたいと思います。

■診療科目

一般診療 整形外科、内科、外科、消化器科、脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚泌尿器科、肛門科、放射線科、麻酔科
特殊診療 CPAP（睡眠時無呼吸症候群治療）、AGA（男性型脱毛症）在宅酸素療法、禁煙治療、ED（勃起障害治療）
※訪問診療 病状などにより、通院が困難な方のお家をお訪ねします。

■病床数 60床（うち地域包括ケア病床 12床）

■診療日

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 4:00~ 6:00	●	●	●	●	●	×

休診日／日曜日・祝日・土曜日午後
※救急・ケガ等の場合はいつでも診療いたします（24時間体制）

医療法人 山和会 山口病院

〒457-0836 名古屋市南区加福本通3-28

TEL **052-611-6561** (代) FAX **052-613-0333**

名 鉄：「大江駅」下車、南へ150m
市バス：新瑞橋13系統（左回り）／新瑞橋14系統「港東通」下車 神宮15系統「大江駅前」下車

日本医療機能評価機構認定病院

当院では、医療の質向上の取り組みとして、財団法人日本医療機能評価機構による審査を受け、平成22年4月2日付で認定されました。



<http://www.yamaguchi-hp.jp>

ケータイ・スマートフォン
サイトもご覧ください



やまぐち

患者さまと病院をつなぐ広報誌

2015 Spring

あしたの医療+介護を考える ②

通院が困難な方を支える
「訪問診療」のこれから。

●地域医療にクローズアップ【二之湯医院】



通院が困難な方を支える「訪問診療」のこれから。

高齢化とともに、ニーズが高まる在宅医療。その要ともいえる「訪問診療」を、山口病院は本格的にスタート。「訪問診療」を担当する医師の1人、吉川先生にお話をお伺いしました。

自宅で医療を受けられるという選択肢

—訪問診療を通じて、気づかれたことはありますか？

「訪問診療」が必要な患者さまは症状の重い疾患ではなく、身体のあちこちにさまざまな症状を併発している場合がほとんど。そういったケースでは専門性よりも幅広く診ることのできるジェネラル(総合的)な診察力が必要になります。CTやレントゲンといった設備が整っていない個人宅だからこそ、医師の研ぎ澄まされた洞察力が必要だと感じました。

また、高齢者の増加や病院の病床数が足りないといった、社会的背景の解決策の1つとして「訪問診療」が身近になったことに時代の流れを感じます。ただ山口病院では、以前から理事長がすすんで通院困難な患者さまのところに往診をしていたので、「訪問診療」の土台はすでにできているので、私もごく自然に取り組んでいます。

—どんな患者さまが多いですか。また、訪問診療の間隔はどのように決めるのでしょうか。

自宅療養中の高齢者の方で、寝たきりになっていて病院に通うことができない状況にある方を対象としています。病気でいえば高血圧、糖尿病など生活習慣病がほとんど。訪問回数は患者さまの状態によって変わりますが、およそ月1~2回という頻度で伺います。訪問診療をするように

山口病院の訪問診療

24時間
365日対応

薬も処方

対象の方

訪問診療は月1~2回を中心に行っていますが、何かありましたら対応いたします。

訪問介護ではできない薬の処方も、訪問診療なら可能になります。

病状などにより、通院が困難な方。当院より約2km以内にお住まいの方。

患者さまとご家族の気持ちをくみとる存在として

訪問診療では、私たち看護師も医師に同行して自宅にお伺いしています。お話をしながら患者さまの様子を注意深く観察し、前回の診療から変わったことはないか、細かいことにも気づけるよう心がけています。

診療中は患者さまだけでなくご家族にも声をかけ、介護に疲れていないか、無理はしていないかと話を伺います。顔なじみになると関係性が築けて距離が近くなり、名前でも呼んでいただけたり、気軽に相談されたりするのは何より嬉しいこと。「来てくれてありがとう」や「助かるわ」と声をかけていただくと、自身のやりがいにもつながります。



外来師長 野末 あゆみ(入職歴21年)

昔から理事長の往診に同行しています。患者さまへの優しい声かけなどは本当に勉強になりました。



角田 明美(入職歴22年)

緊急時に入院の措置をとるなど臨機応変な対応は山口病院だからこそ。喜びの声を聞くと励みになります。



安田 千春(入職歴1年)

訪問診療は患者さまの人生に関わり、役に立てるやりがいのある仕事。訪問日にお会いできるのが楽しみです。

山口病院



なって改めて感じたことは、高齢者には「住み慣れた地域や自宅で人生の最期を迎えたい」と希望されている方が多いということ。ご家族も本人の意思を尊重してご自宅で医療を受けることを希望されます。「訪問診療」はただ便利というだけでなく、こうした地域の皆さまの思いを尊重するために必要な選択肢の1つです。

—印象に残っていることはありますか？

末期がんの患者さまのターミナルケア*をご自宅で行いました。診療回数を週1回に増やし、経過を慎重に観察しましたが、それに加えてご家族の方が山口病院に通院された際、患者さまの自宅での様子を細かく報告していただいたので、容態を的確に把握できました。

これまでのターミナルケアでは入院をすすめるのが一般的でしたが、一緒に暮らすご家族の協力のもと、我々が訪問診療というサポートを加えることで「自宅で最期を迎えたい」という願いをかなえることができたのは大きな経験になりました。またご家族との意思疎通が図れていたせいか、看取るときにはご家族から「ありがとう」と声をかけていただいたことも、自身の励みになりました。

*末期患者に対する終末期の医療および看護の総称

—山口病院がさらに取り組むべきことはどんなことだと思いますか？

訪問診療の日にはヘルパーさんやケアマネージャーさんに待機していただいていることが多く、貴重な情報交換の

場にもなっています。診察日以外の患者さまがどんな様子だったのかなど、さまざまな職の方からお聞きすることで気づくこともたくさんあります。

これからはそういった連携をさらに強化し、より患者さまのお役に立てるよう努力していきたいですね。

—地域の皆さまにメッセージをお願いします。

山口病院は「在宅療養支援病院」に認定されており、緊急時は24時間対応が可能です。急に具合が悪くなった場合の受け入れ先があると心強く、患者さまも安心されます。寝たきりで通院困難な方や、ご家族の方が病院へ連れて行けず「訪問診療」を希望される場合は、一度ご相談ください。

寝たきりの高齢者やご家族の方にとって、訪問診療は「助かる」だけでなく、精神的な支えになる部分が強いと感じました。また訪問診療によって他職者との情報共有がスムーズになるといった点も「地域包括ケア」の連携に大きくつながると思います。

医療法人 山和会 山口病院

医学博士 内科部長 吉川 武志

Profile

岐阜大学医学部附属病院第一内科、岐阜市民病院、一宮市立木曾川市民病院で勤務。2013年4月、山口病院内科部長(内科・消化器科担当)に。日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本医師会認定産業医。



私とやまぐち

「笑顔忘れず、患者さまをお待たせしない対応を心がけています」

私たち事務部は患者さまを診察室へご案内したり、医師の指示のもと処方せん作成やカルテ入力を行ったり、受付、会計業務を担当しています。どんなに作業に追われていても笑顔忘れず、ていねいかつ患者さまをお待たせしないスピーディな対応を心がけています。

スタッフ間は職種の垣根もなく、忙しい中でミスがあっても必ず誰かがカバーしてくれるなど、気持ちの優しい方々が揃っています。産休や復帰後の子育てとの両立も、スタッフの協力があって乗り越えることができました。山口病院は患者さまとの距離が近く、私たちの顔と名前を覚えて話しかけて

いただくことがあり、そうしたふれあいは楽しみの1つです。受付などで見かけたらぜひ声をおかけください。



藤井 稜子 田中 望 岸良 智美
(入職歴3年) (入職歴5年) (入職歴8年)